

## 海外安全対策情報（2014年4月～6月）

### 1 社会・治安情勢

2013年犯罪統計が発表されました。総犯罪件数は減少傾向にありますが、強盗・殺人・強姦については大幅に増加しています。また、犯罪発生地域については首都カンパラが減少傾向にある反面、地方での犯罪が大幅に増加しています。その理由として、首都カンパラにおいてはテロの脅威が潜在しているため警察官の配置を強化している一方、地方は警察官の人員不足及び質の低下が問題となっていることが挙げられ、犯罪が地方へ拡散しているものと思われます。

	認知件数	強盗	殺人	強姦
2011年犯罪件数	268,811件	29,451件	1,987件	8,633件
カンパラ犯罪件数	29,703件	12,623件	428件	1,347件
発生割合	11.0%	42.9%	21.5%	15.6%
2012年犯罪件数	273,957件	28,097件	1,911件	9,009件
前年比	101.9%	95.4%	96.2%	104.4%
首都カンパラ	23,271件	9,381件	312件	1,042件
発生割合	8.5%	33.4%	16.3%	11.6%
2013年犯罪件数	251,409件	63,455件	2,326件	21,830件
前年比	91.7%	225.8%	121.7%	242.3%
首都カンパラ	17,402件	5,942件	256件	894件
発生割合	6.9%	9.4%	11.0%	4.1%

### 2 一般犯罪・凶悪犯罪

首都カンパラで活動している犯罪グループは下記のとおりです。活動地域に訪れる際は、十分注意してください。

グループ名	主な活動地域	備考
ブコワクルー Bukowa crew	キセンイ Kisenyi	主に車両部品を窃取。
ナグルアローボーイズ Naguru arrow boys	ナグル,ナカワ Naguru, Nakawa	
ビジャンビヤ Bijambiya	ナンクラビエ,ワンデゲヤ Nankulabye, Wandegeya	鉄棒を使用し歩行者を襲撃。

ソビ Sobbi	ナテテ Natete	
キフェシ Kifesi	カトエ Katwe	女性が被害者になるケースが多い。
バッドライフ Bad Life	ワンデゲヤ,ムラゴ,マケレレ Wandegeya,Mulago,Makerere	
チープストワーズ Cheap stores	キクボ,オウイノマーケット Kikuubo,Owino market	女性グループで店舗商品を窃取。
ビー・サーティーン B-13	ブランゲ,ルングジャ Bulange,Lunguja	主に住居侵入強盗。
ビパンダクルー Bipanda Crew	クロックタワー Clock tower	泥酔歩行者を襲撃し所持品強奪。
ルカンガ Lukanga	ザナ,ナマスバ,カジャンシ,ナジャンクンビ Zzana,Namasuba,Kajjansi,Najjanakumbi	体格がよく歩行者を襲撃。
バブン Baboon	カスビ Kasubi	
カソロボーイズ Kasolo boys	ブワイセ,カウエンペ,ノーザンバイパス Bwaise,Kawempe,Northern bypass	殺人・強姦・住居侵入強盗。

### (1) 盗難・強盗事件

#### ○カンパラ県 (Kampala)

ア 4月20日夜、ナサーロード (Nasser Road) にある「Printer House」入居の6テナントにおいて、侵入盗難事件が発生しました。何れのテナントもパソコン、プリンター、PC関連商品及び現金などが窃取されました。

イ 5月9日、ムクワノゲストハウス (Mukwano GH) の宿泊客が外出先から戻って来たところ、自室に置いてあった貴重品が紛失していることに気付きました。宿泊客は外出前に各窓扉の施錠確認をしており、各鍵も壊されていない状態で盗難に遭ったことから、ホテル従業員の仕業ではないかと不審感を抱きました。

ウ 5月25日午後1時頃、ルゴゴモール (Lugogo mall) の駐車場に車を止めて買い物をしていたところ、車上荒らしの被害に遭いました。

エ 5月30日午後10時頃、レストラン・ザ・ローンズ (The Lawns) で同僚と食事をしていたところ、置き引きの被害に遭いました。

オ 6月10日深夜から早朝に掛け、自宅にて就寝中、シャワー室の小窓から侵入されパソコン、携帯電話及び現金などが窃取されました。

カ 6月14日午前8時過ぎ、ムクワノゲストハウス (Mukwano GH) の宿泊客が朝食を取っていた際、従業員から自室の扉が開いていると聞かされ部屋に戻ったと

ころ、旅行鞆を壊され貴重品が窃取されていきました。宿泊客は自室扉の鍵とは別に自前で鍵を追加していましたが、自前の鍵は壊されていたもののホテル側の鍵が壊されていなかったことに不審感を抱きました。

#### ○マサカ県 (Masaka)

報道によると(6月4日)、ガソリンスタンドに配置されていた警備員が、同スタンドからの給料払いが遅れていたことに不満を持ち、従業員に対し発砲し250万シリング(約10万円)を強奪しました。

#### ○ブギリ県 (Bugiri)

6月16日午前5時頃、ナマインゴ県 (Namayingo) からジンジャ県 (Jinja) へ向かっていた乗合タクシーが強盗被害に遭い、乗客が所持していた1250万シリング(約50万円)が強奪されました。犯人は軍服を着用しており、検問と見せ掛けてタクシーを停車させ犯行に及びました。なお、このタクシーは2年間で同様の被害に2回遭っています。※ウガンダでは、一般人による迷彩服の着用は禁止されています。

#### ○ヌオヤ県 (Nwoya)

6月21日、マーチソフウォールズ国立公園において、武装密猟者5人組が公園警備隊宿営地を襲撃し、小銃を強奪して逃走しました。

#### ○グル県 (Gulu)

報道によると(6月27日)、グル県では日中に発生する強盗事件が増加しているため、多くの商売人が午後6時で閉店するなどの自衛策を取るようになりました。また、今年に入り少なくとも51人が殺害されていることから、ウガンダ警察は犯罪防止部隊をグル県をはじめとする北ウガンダへ派遣しました。

### (2) 殺人事件

#### ○ブダカ県 (Budaka)

4月16日、ブダカ病院へ何者かが侵入し、入院中の男性患者を殺害し逃走しました。

#### ○カンパラ県 (Kampala)

5月22日午後9時頃、捜査課に所属していた男性警察官が、自宅前で待ち伏せしていた2人組により射殺されました。

#### ○ナマインゴ県 (Namayingo)

5月23日夜、警察官所持の小銃を略奪することを目的に、何者かが交番で勤務していた警察官を射殺しました。

### (3) 強姦事件

#### ○ユンベ県 (Yumbe)

4月18日午後7時30分頃、19歳男性が10歳の女の子を強姦しました。また、被害者はその際に暴行を受け重傷を負いました。

### 3 テロ・爆弾事件発生状況

テロ・爆弾事件は発生していません。しかし、ウガンダでは「アル・シャバーブ」によるテロの脅威が潜在しており、また近隣諸国においては同テロ組織によるテロ行為が発生しています。このため、下記の注意喚起についても参照ください。

#### (1) 5月23日 ウガンダ：テロの脅威に伴う注意喚起

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcspotinfo.asp?infocode=2014C196>

#### (2) 6月12日 東アフリカ地域：テロの脅威に伴う注意喚起

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcwideareaspecificinfo.asp?infocode=2014C216>

6

#### (3) 6月17日 東アフリカ地域：ソマリアのイスラム過激組織によるテロの脅威に伴う注意喚起

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcwideareaspecificinfo.asp?infocode=2014C222>

2

### 4 誘拐・脅迫事件発生状況

#### ○カンパラ (Kampala)

4月7日午前5時30分頃、アルアパーク (Arua Park) にてIT技術者の男性が誘拐されました。6月末現在、未だ事件解決には至っておらず、捜査は継続されています。

※近年、ウガンダにおいても身代金目的の誘拐が増加傾向にあります。現在のところ、日本人が誘拐されるような事件は発生していませんが、現地人(アフリカ諸国)からすれば日本人は裕福に見られ被害者となり得る可能性も排除出来ないため、滞在中の行動には十分注意してください。

### 5 日本企業の安全に関わる諸問題

対日感情が良好なこともあり、日本企業であることを理由に標的とされる可能性は低いです。

以上